

英語科学習指導案

令和2年2月18日（火）第5校時（13：25～14：15）2年2組

T1 江口 佳那 T2 Camilla Webber

1. 小野の英語科指導の重点

相手を意識して、自分の考えをわかりやすく英語で話し、相手の話を興味をもって聞くことができる。

2. 単元名 Lesson 8 India, My Country (New Crown 2)

3. 本時のねらい

グループで書きためてきた英文を読み合い、チェックリストを見ながら内容や文法を確認することで紹介文を作ることができる。

4. 展開 ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能 ☆評価項目(方法)

	学習活動 ☆:生徒の意識	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導の3機能 (決=自己決定、存=自己存在感、共=共感的理解)	
		JTE	ALT
めあてをはっきり	1. あいさつ・帯活動 ・ Small Talk Topic: Country What prefecture do you want to go? ☆Lesson5 でも自分の行きたい国について話したな。	◎Lesson5 の自分の行きたい国の発表を想起させ、やりとりをさせる。 ○JTE と ALT でやりとりのモデルを見せる。	○つまづいている生徒の支援をする。
	2. 本時のめあてをつかむ	○グループで今まで書いてきた英文の内容や文法をチェックして修正することを伝える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 書きためてきた英文をチェックし、おすすめの場所の魅力が伝わる紹介文になるようにしよう。			
課題をじっくり	3.本時の活動を行う (1)自分たちの書いた英文をグループで読み合う。 ○チェックリストを見ながら相手の文を赤で修正する。 ※友だちの紹介文を読んで、おすすめの魅力が伝わるようにアドバイスをする。(決) ☆この文は、この場所の魅力がよく伝わっている。	◎チェックリストを見て、内容や文法について確認させる。 ○文法や内容、わかりやすいところなどに○、☆などの記号をつけて英文を修正させる。	○チェックの仕方のモデルを見せる。 ○紹介文を書く時のポイントを全体で確認させる。 ○文法のミスなどを訂正するサポートする。
	(2)添削された紹介文を見直す。 ○添削されたものを読み直し修正する。 ☆人に見てもらおうと自分で気づかなかったミスに気づけるな。	○グループで自分たちの英文を見直させ、どこを修正すべきか確認させる。	※グループで英文を見合うことで自分たちの紹介文がより魅力あるものになったことを伝える。(共)
子どもの姿（理解） グループごとに書きためてきた英文を読み合い、チェックリストを見ながら内容や部活を修正し、紹介文を書き直すことができる。(観察・ワークシート・発表)			

まとめしゅかり	<p>3. グループ内で本番に向けて発表練習をする。</p> <p>4. いくつかのグループが修正したものを発表する。</p>		<p>○発表の時のポイントを再確認する。</p> <p>※聞き手となって反応をしたりアドバイスしたりと生徒と関わり、生徒をほめる。(存)</p>
	<p>まとめ・ I think Sensoji Temple is the most popular in Tokyo.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ It is visited by many people. ・ It was built in 1958. ・ We can go there by train. 		
振り返り	<p>5.振り返り</p> <p>○グループで次の発表に向けてどうしていくのか意見を出し合う。</p>	<p>○次回の発表に向けてコミュニケーションポイントを確認する。</p>	
	<p>ふりかえり・ 紹介文を読み合うことでグループの紹介文になってよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の人に見てもらふことで自分の気付かなかったミスに気付くことができたな。 ・ 来週の発表に向けて、コミュニケーションポイントをもう一度確認する必要があるな。 		

単元構想<10時間>

過程	時間	○めあて ・主な学習 ◎学びのつながり ※生徒指導の3機能(決=自己決定 存=自己存在 共=共感的人間関係)	評価の観点			
			関	表	理	言
つかむ	1	○東京のおすすめの場所についてメモを見ながらほかのグループに紹介し合おう。 ◎既習表現を使って、東京のおすすめの場所についてアイデアマップを見ながら紹介をする。(試しの活動) ・グループで東京のおすすめの場所について自分たちが知っていることや、資料から分かることについて情報を出し合う。 ・キーワードを見ながら、既習事項を用いて英文を作らせ、発表させる。	○			
追求する	2	○「～される」という表現を知り、それを使って自分の紹介する場所についての紹介文を書こう。 ◎“is used”を使って、3 ヒントクイズを作ったことを想起させる。 ・受け身の現在形の意味・用法を学ぶ。 ・～に使われるという英文を1文書かせる。		○		
	3	○Lesson8-1を読んで、東京のおすすめの場所に紹介する時に使える表現を知り、使ってみよう。 ◎本文に出てくる受け身の現在形の表現に気づかせる。 ・Lesson7 で習った最上級の表現を使った英文を1文書かせる。			○	
	4	○「～された」という表現を知り、学習した表現を使って紹介文を書こう。 ◎受け身の現在形の用法を確認しながら、受け身の過去形の用法の違いに気づかせる。 ・受け身の過去形の意味・用法を学ぶ。 ・～に建てられたという英文を1文書く。		○		
	5	○Lesson8-2を読んで、紹介文に使える表現を知り、東京のおすすめの場所について紹介する英文を書こう。 ◎本文に出てくる受け身の過去形の用法に気づかせる。			○	
	6	○Lesson8 Use-Read の本文内容の概要をつかもう。 ・各段落で書かれていることを小グループで確認する。 ・各段落にタイトルをつける。 ・グループ内で書いてある内容について共有する。			○	
	7	○Lesson8 Use-Read の本文内容を細かく理解しよう。(段落の内容の確認) ・段落ごとに細かく内容を確認する。			○	
	まとめ	8	○グループごとに書きためた英文を確認し合い、紹介文を完成させよう。 ・書いたものをグループごとにチェックリストを見ながら訂正する。 ・訂正したものをグループ内で確認する。 ・グループで発表練習をする。		○	
	9	○ALT に東京のおすすめの場所について紹介しよう。 ・グループで写真を見せながら東京のおすすめの場所について ALT に紹介する。		○		
	10	○単元テスト、リスニング				○

Check List

チェックリストを見ながら、友だちの紹介文を直して、より魅力が伝わるようにしよう！
赤ペンで友だちの原稿をチェックしよう！

場所

メンバー

次の項目内容を見て、英文がその条件に当てはまっていたらチェック欄に☑を入れましょう。

観点	チェック	内容
発表内容		① どこにあるかという説明がある。(～市、～町、～区など)
		② どうやって行くのかについての説明がある。(交通手段、～駅で乗る/降りる、～線に乗るなど)
		③ そこでなにができるのかについて書いてある。(その場所のおすすめポイントについてなど)
構成		④ 「～される/された」という英文がある。
		⑤ 英文をよんですんなりと内容が入ってくる。 ※この文とこの文を入れかえた方がよいと思った場合は、赤ペンで⇄をつける。

アドバイス (ここが良かった、もっとこういう英文が欲しいなど)

+α やってみよう！あてはまる英文にマークをつけよう！

☆紹介文を読んでこの文はいいな(ALTへおすすめしたいという思いが伝わってくると
いう思いが伝わってくる)と思うところ

△紹介文を読んでいて何を伝えたいのか分からないところ

◎紹介文を読んでいて、もっとこういう文を加えて欲しいところ

友だちから英文が戻ってきたら、直された英文を別の色のペンで直そう！

Let's write your favorite place in Tokyo!

おすすめの場所の魅力が伝わるようにチェックリストを見ながら、スピーチを書いていこう！

場所

メンバー

○導入 ・何について話すのか	
○内容 ① どこにあるのか ② どうやって行くのか(交通手段、～駅で乗る/降りる、～線に乗るなど) ③ そこで何ができるのか ◎～される/されたという表現を使ってみよう！	
○まとめ	

自分の発表を振り返って

- ① コミュニケーションポイントを意識できた。A・B・C
- ② 相手が聞き取りやすい声、スピード、発音などで発表できた。A・B・C
- ③ おすすめの場所の魅力を伝えることができた。A・B・C

発表を終えての感想

日付	活動内容	今日の振り返り	
①	メモを見ながら東京のおすすめの場所を紹介する。	【めあて】習ってきたことを使って東京のおすすめの場所を紹介しよう。	
		今まで習ったことを使って相手に考えを伝えることができた。	とても まあまあ あまり
		相手の話を聞いて、内容を理解することができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～に使われている」という英文(Lesson8-1)	
②	「～される」という表現を学び、使って英文を書く。	【めあて】「～される」という表現を学ぼう。	
		be 動詞(現在形)+過去分詞の形を理解することができた。	とても まあまあ あまり
		「～される」という英文を書くことができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「〇〇は東京で1番～な場所」という英文(Lesson7)	
③	インドの標識についての話の内容を読み取る。	【めあて】インドの標識についての話の内容を読み取ろう。	
		「～される」という表現に気づくことができた。	とても まあまあ あまり
		おすすめ場所紹介に向けて英文を1文書くことができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～に建てられました」という英文(Lesson8-2)	
④	「～された」という表現を学び、使って英文を書く。	【めあて】「～された」という表現を学ぼう。	
		be 動詞(過去形)+過去分詞の形を理解することができた。	とても まあまあ あまり
		「～された」という英文を書くことができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～することができます」という英文	

日付	活動内容	今日の振り返り	
⑤	インド映画についての話の内容を読み取る。	【めあて】 インド映画についての話の内容を読み取ろう。	
		「～された」という表現に気づくことができた。	とても まあまあ あまり
		おすすめの場所について紹介する英文を1文書くことができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「〇〇駅で～で行きます」(バス、電車、徒歩など)	
⑥	ラージのスピーチの概要をつかむ。	【めあて】 ラージのスピーチのあらすじを理解しよう。	
		各段落のキーワードをつかむことができた。	とても まあまあ あまり
		おすすめの場所を紹介する時に使う表現に気づくことができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～線に乗ります」という英文	
⑦	ラージのスピーチの内容を理解する。	【めあて】 ラージのスピーチの内容を理解しよう。	
		スピーチの内容を理解することができた。	とても まあまあ あまり
		スピーチを発音やスピードなどに気をつけて音読することができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～で有名です」や「～があります」などその場所の魅力の説明する英文①	
⑧	おすすめの場所についての英文を確認する。	【めあて】 グループで自分の書いた英文を読み合ってよりよいものにしよう。	
		チェックリストを見て英文を修正することができた。	とても まあまあ あまり
		修正した英文を見て、グループで発表に向けて練習することができた。	とても まあまあ あまり
	感想	「～で有名です」や「～があります」などその場所の魅力の説明する英文②	

一人1研究授業まとめ

英語 江口 佳那

1 題材名・単元名「Lesson8 India, My Country」本時 8 時間目

2 成果

(1) <小野の教科指導の重点について>

相手を意識して、自分の考えをわかりやすく英語で話し、相手の話を興味をもって聞くことができる。

- ・他のグループが ALT に東京でおすすめしたい場所について紹介している時に、最初と終わりの挨拶を一緒に言ったり、そこでできることについて自分たちが調べたことを自分たちが習った受け身や比較級、can などの表現を使って分かりやすく伝えたりすることができた。
- ・ALT が JTE の英文を見てもっとこういうことを書いて欲しいなど話している時には、生徒たちは集中して話を聞き本時の学習内容を理解することができた。

(2) <まとめ・振り返りの充実と個に応じたつなぎ教材の活用について>

- ・①復習型 <グループごとにチェックリストを参考にして、相手の英文をチェックし、東京のおすすめの場所の魅力がより伝わるようにする。>
 - 今までの授業で書きためてきた英文を活用し、生徒たちはグループごとに東京のおすすめの場所を紹介する英文を書いてきている。ALT と JTE がモデルを見せることで、チェックリストを参考に、他のグループの英文を読んで、どんな情報を加えた方がよいのか、英文をどう書き直すとより東京の魅力が伝わるのかなどを相手に伝えることができた。
- ・②復習型<チェックしてもらった部分を修正し、グループで次の発表に向けて練習する。>
 - 同じグループではない人に英文をよんでもらうことによって、自分たちでは気付かなかったことに気付くことができた。次の発表に向けて、コミュニケーションポイントを意識しながら繰り返し練習することができた。



授業改善に向けて、私はこちらします！

課題

- ・ALT と JTE でモデルを見せた時に、一方的な説明になっていることが多かった。
- ・書きためてきた英文を ALT が修正していたのだが、ただ正しく修正するだけでは生徒は何がどこで間違っているのか、自分がなぜ間違っているのかが分からないままになっている。

改善策

- ・モデルを見せる時に、生徒とのやりとりを増やし一方的に説明するだけにならないようにする。
- ・書きためた英文の修正の仕方を工夫する。生徒が間違えていた英文を書いていた場合は、間違えている部分に印だけつけるなどして生徒が自分でなぜ間違っているのかに気付かせ、考えて自分で修正させたい。